

緒方 W杯初勝利



梶崎智が総合優勝

野口2位

【ベイル(米コロラド)・イミングのワールドカップ(州)共同】スポーツクラア(W杯)ボルダリング

W杯ボルダリング

は8日、米コロラド州ベイルで今季最終の第6戦が行われ、6人による決勝で男子は梶崎智(TEAM au)が2位に

入り、2016年以来2度目のシーズン総合優勝を果たした。緒方良行(神奈川大)がW杯初勝利を挙げ、総合優勝を決めていた。女子決勝は野口啓代(TEAM au)が2位に入り、野中生萌(X)が3位。表彰台で君が代を奏した。真緒(青学大)は6位。総合優勝を決めていたヤンヤ・ガルンブレト(スロベニア)が全6戦を制する快挙を達成した。野口が総合2位に入

楽しんで最高の結果に

Road to 2020 KANAGAWA

男子の緒方(神奈川大)は、総合成績でトップに立っていたオンドラ(チェコ)より上位に入り、梶崎智の総合優勝を援護できたと思っていたという。「まさか自分が優勝して智君も年間優勝が決まっていたのは、信じられない」と顔をくしゃくしゃにして喜んだ。

第1課題を何度も失敗しながら、第2課題をクリアすると、勢いに乗ってただ一人、4課題全てを攻略。会場に流れる音楽や景色を含めて大会を満喫しようと心掛け「楽しもうとするのが生き生きと動いてくれる」と最高の結果につなげた。

◇スポーツクライミング W杯ボルダリング総合成績

	第1	第2	第3	第4	第5	第6	得点
【男子】							
①梶崎 智(TEAM au)	2	2	1	2	2	2	340
②オンドラ(チェコ)	1	2	4	2	5	5	335
③緒方 良行(神奈川大)	8	3	2	9	4	1	264
【女子】							
①ガルンブレト(スロベニア)	1	1	1	1	1	1	500
②野口 啓代(TEAM au)	2	2	2	2	2	2	320
③ジペール(フランス)	4	3	7	13	2	3	308

(注) 丸数字は順位

男子ボルダリングで3年ぶり2度目のシーズン総合優勝を果たした梶崎智(TEAM au)が10日、今季最終の第6戦が行われた米国から成田空港に帰国し「前回は勢いで勝った。(今回の総合優勝で)実力がついてきていることが分かって、自信になった」と喜びを語った。

女子で4度の総合優勝を誇る野口啓代(TEAM au)から「総合は2度目が難しい」と言われていたという。国内外のライバルの成長もあって過去2年はタイトルから遠ざかったが、苦手な動きの克服に努めて今季は出場4戦で全て2位以内と抜群の安定感だった。「(今回は)全戦優勝して年間(優勝)を取りたい」と貪欲に話した。

最終戦でW杯初勝利を挙げた緒方良行(神奈川大)は「表彰台の真ん中で君が代を聞きたいという夢があった。達成できてうれしい」と語った。